

# すべての基本は授業から～根拠を基に説明できる児童の育成～

【加須市教育委員会】

## 1 学力向上に向けての取組

### (1) 学力向上のカギは「あいさつ」である (礼三息)



授業の始めは、礼三息<sup>れいみいき</sup>でゆっくり深々と礼をする。教師が、子どもたちを見回してから着席を告げ、教師主体で授業が始まる。廊下ですれちがった時は、立ち止まって先生の名前を言って礼をする。地域の中でも「〇〇さん、こんにちは」と礼をしてあいさつをする。教師同士でも名前を言ってあいさつするのが基本である。

### (2) 礼儀・礼節を重んじ「師を敬う」ことができれば、学力は伸びる・指示・指導が行き届く

あいさつが徹底されると、教師と児童の信頼関係が深まる。学校中、あいさつの声が響き渡り、学校が活性化。そして、学校生活が落ち着き、教師の指示・指導がしっかりと子どもたちに行き届く。指導されたら、「御指導ありがとうございます。」と素直に感謝の言葉を伝える指導をする。

### (3) 学力向上プロジェクト指導改善プランを作成し、その実践を共通化する

### (4) 授業の基本型・話型を作成し、これだけは身に付けたいことを徹底して指導する

初任者もベテランも同じように適切に児童の指導ができる学習規律を徹底し、「話す」活動を重視して根拠を基に自分の言葉で説明できる児童の育成をめざす。



#### <授業の基本型>

- あいさつ (あいさつも学力 礼三息 師を敬う)  
教師が児童を見渡し、教師が着席を伝えて授業を開始する。(話型の群読暗唱を国語の時間にする)
- 学習の見通しをもたせる。  
授業グッズ (①単元の学習計画②本時の流れ ③考える視点④今ここ)
- 根拠を基に話し合う **叙述(根拠)を基に**  
①話し合う前に書かせる。100字、200字で書く  
②話型を重視した話し合い活動を展開  
(低・中・高学年別話し方の基本を作り全児童に暗唱させる。まず結論。次に理由を言う。  
③教師が手本を示し、ゴールの姿を知らせる。  
④話し合いを基に自分の考えを高める。  
「〇〇さんの～から～と考えました。」
- 学習を振り返らせる。①ゆさぶりをかけ、思考を深める。②まとめる。(ねらいに対して、学習感想を書く。100字で、3～5行で)
- あいさつをし、次の時間の準備をする。

#### <加須市からの研究委嘱>

○根拠に基づいて自分の言葉で説明できる児童の育成—国語科、単元を貫く言語活動

### (5) 学力向上のその他の取組「全ての基本は授業から」一人1研究授業の実施

ア 家庭学習の手引きとその活用	カ 辞書活用の習慣化
イ 「ぐんぐんファイル」学力の成果を蓄積	キ 言語環境整備・掲示の工夫 (廊下・階段)
ウ 校内漢字進級・漢字計算復習テストの実施	ク 100マス全校計算集会の実施と表彰
エ 読書オリンピックの実施と表彰	ケ 漢字・計算テストタイムの充実 (月・水の朝)
オ 古代名文の暗唱と表彰。群読発表会の実施	コ ステップアップタイムの充実 (月曜の放課後)

## 2 成果と課題

- 成果 教職員の意識改革、教師の資質・指導力の向上が図られ、児童の学力が向上している。
- 課題 さらに学力を伸ばすために、新たな指導の工夫改善を図る必要がある。